

千代田図書館で「江戸図」を探す

1. 「江戸図」とは

「江戸図」とは、都市・江戸の様子を、「地図」（当時の用語では「絵図」）や「絵画」（絵巻・屏風絵など）の形で、視覚的に表現したものをいいます。このパスファインダーでは、そのうち「地図」について、現代人でも利用しやすいものを中心に、千代田図書館やインターネット上で利用できるものを紹介します。

※ 関連するキーワードの例

江戸図／江戸／地図／絵図／古地図／慶長図／寛永図／正保図／分間図／分道図／切絵図

2. 「江戸図」について知る

江戸時代全体にわたり、様々な用途のために多種多様な「江戸図」が作製・発行されました。

その全容や時代・用途による違いなどを知るために有用な資料を紹介します。

（当パスファインダーの解説文作成にあたり、主に参照したものです。）

書誌情報	請求記号	配架場所 棚番号
『江戸図の歴史』全2冊 （飯田龍一・俵元昭著，築地書館，1988年）	TC4/006	地域資料（貸出禁止）棚番号6
『江戸の地図屋さん 販売競争の舞台裏』 （俵元昭著，吉川弘文館，2003年）	TC4/201/127	地域資料（貸出禁止）棚番号6
『江戸城が消えていく 「江戸名所図会」の到達点』 （千葉正樹著，吉川弘文館，2007年）	TC2/906	地域資料（貸出禁止）棚番号6
『国史大辞典』全15巻（17冊） （坂本太郎ほか編集委員，吉川弘文館，1979-1997年）	R210	参考図書（貸出禁止）棚番号9
『絵図学入門』 （杉本史子ほか編，東京大学出版会，2011年）	291	ガイド（貸出可）棚番号15

3. 図書でみる

「江戸図」の原図は各地の博物館・図書館・大学ほか学術機関などで保存されており、現物を閲覧できる場合もありますが、貴重資料のため取り扱いに注意する必要があります。現代では原図をもとに複製・編集し、図書の形で発行されているものがあり、一般の利用のためにはこれらの図書を利用するほうが簡単です。注記や解説、索引が付されたものや、現代の地図と対照できるようになっているものもあり、便利です。

3-1. テーマの棚に行って探す

千代田図書館の「地域資料」のコーナーに、「江戸図」に関する資料をまとめています。

配架場所（棚番号）	請求記号（分野）
地域資料（棚番号6）	TC（地理）

3-2. 代表的な「江戸図」集

・「切絵図」(きりえず)

「切絵図」は、18世紀末から幕末にかけて複数の版元から発行されたもので、江戸後期の街の様子を知ることができます。携帯の便を考慮して地区ごとに区切られており、急坂の場所や目立つ景観を記したのものや、武家地・寺社地・町人地などの用途別に色分けされているものもあるなど、実用的な工夫が施されています。

書誌情報	請求記号	配架場所 棚番号
『江戸切絵図集成』全6巻 (斎藤直成編, 中央公論社, 1981年-1984年)	TC4/801/L	地域資料 (貸出禁止) 棚番号6
『切絵図・現代図で歩く江戸東京散歩』 (人文社編集部編, 人文社, 2002年)	TC4/019	地域資料 (貸出禁止) 棚番号6

・「御府内沿革図書」(ごふないえんかくずしょ)

江戸時代末期に、土木工事を管轄する幕府普請方が、江戸市中の土地利用の沿革を調査しまとめたものです。地域にもよりますが、江戸時代前期の延宝年間(1673年-1681年)から幕末の文久2年(1862年)までの街の様子と変遷を知ることができます。「切絵図」が作製される前の時期について分かるほか、「切絵図」などでは省略される入りくんだ町の境界にも配慮されています。ただし、下級幕臣の集住地域については詳細が記載されておらず、「切絵図」のほうで詳細が分かることもあります。

書誌情報	請求記号	配架場所 棚番号
『江戸城下変遷絵図集 御府内沿革図書』全20巻 (朝倉治彦監修, 原書房, 1985年-1987年)	TC4/022	地域資料 (貸出禁止) 棚番号6
『江戸城下武家屋敷名鑑』上・下(『江戸城下変遷絵図集』別冊) (朝倉治彦監修, 原書房, 1988年)	TC4/023	地域資料 (貸出禁止) 棚番号6

・様々な「江戸図」

利用の便を考慮して、先に「切絵図」・「御府内沿革図書」を紹介しましたが、江戸時代の全期間を通じて主要な「江戸図」をまとめた図書もあります。江戸初期・中期に作製・発行された、一枚ものの「大絵図」も収録されています(ページごとに区切られています)。

書誌情報	請求記号	配架場所
『古板江戸図集成』全9巻 (斎藤直成編, 中央公論社, 1958年-1961年)	TC4/802	閉架 (貸出禁止)



<ワンポイントアドバイス>

「江戸図」では、武家屋敷や寺社については詳細が分かりますが、町人地については詳細が記されていません。町人地については、「地図」ではなく、文字で記された「地誌」が手掛かりになります。下に紹介したものは、江戸期のさまざまな地誌類から町人地に関する情報を中心に抽出し、まとめたものです。

書誌情報	請求記号	配架場所 棚番号
『江戸・町づくり稿』新装版 全4巻 (岸井良衛編, 青蛙房, 2003年-2004年)	TC1/002	地域資料 (貸出禁止) 棚番号5



<こんな資料もあります>

- ・「江戸図」そのものではありませんが、江戸の町の様子を地図の形に編集・再現した資料もあります。下に紹介したものは、幕末・安政年間（1854年～1860年）について、幕府の公文書やそれに準じる史料から確認できる江戸市中の様子を、明治期作製の実測図の上にプロットして復元し、さらに現代の東京の様子と重ねて見られるようにしたものです。

書誌情報	請求記号	配架場所 棚番号
『復元・江戸情報地図』 (吉原健一郎ほか編, 朝日新聞社, 1994年)	TC4/129	地域資料 (貸出禁止) 棚番号 6

- ・2016年、島根県の松江市立松江歴史館に所蔵されている「江戸始図」が、現存最古級の「江戸図」であることが確認されました。慶長期の1607-1609年頃のものともみられ、これまで知られていた同時期の「江戸図」に比べて、より明快に江戸城内の様子が分かるものとして、注目を集めています。

書誌情報	請求記号	配架場所 棚番号
『松江城と江戸城 国宝になった城と天下人の城』 (松江城歴史的価値発信事業実行委員会・ 千代田区立日比谷図書文化館文化財事務室, 2017年)	703.8/図録	雑誌 (貸出可) 雑誌 D
『江戸始図でわかった「江戸城」の真実』 (千田嘉博・森岡知範著, 宝島社, 2017年)	TC4/009	地域資料 (貸出禁止) 棚番号 6

4. インターネットでみる

所蔵する「江戸図」原図をデジタル化し、インターネットを通じて公開する博物館・図書館・大学ほか学術機関などが増えてきました。原図の持つ質感・色合いなど「実物」ならではの要素は感じられませんが、取り扱いの難しい原図を、所蔵先を訪問することなく見ることができる点で、大変便利です。

- 「東京都立図書館 TOKYO アーカイブ」 <http://archive.library.metro.tokyo.jp/da/top>
- 「国立国会図書館デジタルコレクション 古典籍資料 (貴重書等)」 <http://dl.ndl.go.jp/>
- 「国際日本文化研究センター 所蔵地図データベース」
<http://db.nichibun.ac.jp/ja/category/syozou-map.html>



<こんな資料もあります>

「江戸図」を提供する主なデジタルアーカイブを紹介したものです。上記でご紹介した以外のアーカイブのほか、各アーカイブで見ることのできる「江戸図」について、書誌情報も合わせて確認できます。

書誌情報	請求記号	配架場所
栗原智久「江戸図 デジタルアーカイブ調査」 (『東京都江戸東京博物館紀要』第6号, 2016年3月 所収)	TN5/202/6	地域資料 (貸出禁止) 棚番号 6

5. 類縁機関

「江戸図」やその関連資料について調べる際に有用な図書館・類縁機関をご紹介します。

■東京都立中央図書館 <https://www.library.metro.tokyo.jp/>

■国立国会図書館 <http://www.ndl.go.jp/>

■江戸東京博物館図書室 <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/purpose/library/>

■東京都公文書館 <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/01soumu/archives/>

千代田区立千代田図書館サービス

平成 31 年 3 月作成

